

2016年3月29日
京成電鉄株式会社

さらに快適に駅をご利用いただくために
「お客さまご案内用タブレット」を全駅に導入
 iPadを使ってわかりやすく、スピーディーに、正確に、ご案内します！
 3月31日（木）から

京成電鉄（本社：千葉県市川市、社長：三枝 紀生）では、3月31日（木）より、京成線全65駅（成田スカイアクセス4駅を除く）に、お客さまご案内用のタブレット（iPad）を順次導入して参ります。

導入するタブレットは、多言語音声翻訳アプリを搭載しており、訪日外国人のお客さまに対して、多言語でのご案内が可能となるほか、地図や乗換検索、筆談アプリなども搭載しているため、訪日外国人のお客さまとの対応時だけでなく、多種多様なシーンに応じて、よりわかりやすく、スピーディーに、そして正確にご案内できるようになります。



タブレットでご案内している様子

京成電鉄では、訪日外国人のお客さまをはじめ、より多くのお客さまに快適に駅をご利用いただけるよう、今後もサービス向上に努めて参ります。

「お客さまご案内用タブレット」導入の概要は次頁の通りです。

「お客さまご案内用タブレット」導入の概要について

1. 導入日 2016年3月31日（木）より順次
2. 導入台数
 - ①京成線 全65駅（※1）の改札口 73台
 - ②日暮里駅、空港第2ビル駅、成田空港駅、
成田空港第3旅客ターミナルに配置している案内係 4台
（iPad を携帯し、ご案内に活用します）
 - ③成田空港ターミナルビル内到着階カウンター 4台
3. 導入機種 iPad Air2（※2）
4. 搭載機能
 - ①地図 ②多言語音声翻訳「VoiceTra（※3）」 ③乗換検索
 - ④筆談 ⑤インターネット検索 等

<備考>

※1・・・成田スカイアクセス4駅（東松戸、新鎌ヶ谷、千葉ニュータウン中央、印旛日本医大）を除きます。

※2・・・iPad Air2 は Apple Inc.の登録商標です。

※3・・・「VoiceTra」は国立研究開発法人 情報通信研究機構（NICT）が開発した多言語音声翻訳アプリです。英語、中国語、韓国語など29言語（方言を含むと31言語）に対応しています。

以上